

川崎市岡本太郎美術館 教材 (貸出し・オンライン) のご案内

学校で岡本太郎の作品と楽しくふれ合える教材を、無料で貸出しています。映像 DVD“岡本太郎の芸術”や、A5、A3 サイズのパウチ加工した作品写真など、クラス全体での鑑賞、グループワークなど必要に応じた教材があります。ぜひ、授業教材としてご利用ください。

《貸し出し教材の申込の流れ》

FAXまたは、下見時に、
教材貸出依頼票を提出



受け取り
(来館または
着払い郵送)



返却
(来館または
元払い郵送)

* ご不明点ありましたら、まずはお電話でお問合せください。

* 教材の貸出でご来館される場合は、**必ず事前にお電話でご予約ください。**

1. 映像DVD

「マナーDVD」

美術館でのマナーをわかりやすく解説している映像です。

時 間：5分

内 容：「さわらない、走らない、大きな声をださない」の3つのルール、美術館の施設紹介などを小さいお子さんにも解りやすく解説した内容です。



「岡本太郎の芸術」

岡本太郎を紹介する映像です。

時 間：18分

内 容：岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作、フィールドワークなど、様々な活動の記録をわかりやすく解説した内容です。

※テロップ入りの聴覚障害者向けビデオもございます (内容は同じです)



2. 作品プリント (パウチ加工プリント) ★サイズ：42.5×30.0cm 黒板などに掲示し、クラス全体で鑑賞するのにおすすめです。

代表作品 36作品



代表的な作品がA3の大きさに36枚のカードになっています。

《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》といった絵画。《太陽の塔》《若い時計台》《坐ることを拒否する椅子》といった彫刻。その他レリーフや岡本太郎が撮影した写真などを集約しています。

※個々の作品についての解説書付

遊ぶ字 40作品



「字は絵だろ」と言った太郎さんがかいた40文字の漢字がカードになっています。

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》《喜》《音》《若》《海》他
全40作品

《太陽の塔》セット

《太陽の塔》の制作風景や、大阪万博当時の会場写真・塔内部の写真など20枚の画像セットです。

※作品についての解説書付



《明日の神話》セット

《明日の神話》の制作風景や、関連作品の《燃える人》のドローイングなど20枚の画像セットです。

※作品についての解説書付



《こどもの樹》セット

《こどもの樹》の制作風景や、それぞれの顔、パブリックアートの写真など20枚の画像セットです。

※作品についての解説書付



※ 3Dデータは二次元コードを読み取り、個別のタブレットでご覧いただけます。画像を黒板に掲示し、手元で作品を見ることで、さまざまな発見に繋がります。

作品とじゃんけんセット

絵画や彫刻作品とじゃんけんができるセット。作品と遊びながら、初めての美術鑑賞を楽しんでもらうセットです。

※作品についての解説書付



3. 作品カード (アートカード)

サイズ：12cm×18cm ★班ごとのグループワークにおすすめです。

このアートカードは太郎さんの作品の代表的な作品がA5サイズの24枚組のカードになっています。

<内容>

油 彩：《空間》《傷ましき腕》《夜》《重工業》《森の掟》他 全7作品

彫 刻：《午後の日》《若い時計台》《樹人》《太陽の塔》他全10作品

版 画：《眼》《夢》全2作品

レリーフ：《マスク》全2作品

インダストリアル：《顔のグラス》

《坐ることを拒否する椅子》他 全3作品

※アートカードを使ったゲーム・遊び方例付



4. 大型作品

★黒板に張り、クラス全体でじっくり鑑賞するのにおすすめです。

サイズ：約B倍 (1030mm×1456mm)

太郎さんの代表的な作品をB倍サイズに印刷し、巻いて筒状になっています。お使いになりたい作品をお選び頂きます。

<内容>

油 彩：《傷ましき腕》《夜》《空間》《森の掟》《重工業》 全5作品



5. オンラインミュージアム (作品解説動画)

当館ホームページのバーナー「作品について」より、収蔵品検索をしていただけます。またいくつかの作品は、学芸員とアートテラー“とに〜”さんによる作品解説動画も配信しています。

鑑賞授業や学習活動の導入など、授業内でお使いいただけますと幸いです。使用する際は、普及企画担当までご一報ください。



★作品プリント（A 3 パウチ加工）

太郎さんの代表的な作品が A 3 の大きさに 36 枚のカードになっています。

- ・クラス全体にみせることができます。
- ・学年や学校、図工室や美術館の掲示板に展示し「岡本太郎ミニ美術館」をつくり自由に鑑賞できます。
- ・アートカードに入っていない作品もあるので、アートカードで活動した後、クラス全体で 1 作品を鑑賞したり「自分だったらこんな題名」などという活動を行ったりできます。

★遊ぶ字（A 3 パウチ加工）

「字は絵だろ」と言った太郎さんがかいた 40 文字の漢字がカードになっています

- ・鑑賞することにより自分もかいてみたいという意欲が高まってきます。
- ・字であるが絵でもあり、絵であるが字でもあるという作品づくりに挑戦するきっかけとなります。
- ・小学校 4 学年の 1 / 2 成人式、小学校 6 学年、中学 3 年生が卒業を前に、「今いちばん大切にしていること」「自分を表すとしたら」「これからに向けて」等を漢字一文字に表す活動はいかがでしょう。

★《太陽の塔》《明日の神話》《こどもの樹》セット（A 3 パウチ加工）

太郎さんの代表作《太陽の塔》《明日の神話》《こどもの樹》についての授業を行うためのセットです。

《太陽の塔》《明日の神話》《こどもの樹》を深く鑑賞するために、太郎さんが真剣に制作する当時の様子の写真や、関連作品の写真がセットになっています。「〇〇の塔」「〇〇の神話」「〇組のこどもの樹」等、オリジナル作品を制作する際に紹介するのはいかがでしょうか。

★じゃんけんセット（A 3 パウチ加工）

太郎さんの作品とじゃんけんするセットです。作品と遊びながら、初めての美術鑑賞を楽しんでもらえます。

- ・クラス全体でじゃんけんをする。
- ・作品が「ゲー・チョコキ・パー」どれなのか観察する。そこから、作品には何が描かれているのか、どんな形の立体なのか鑑賞につなげます。

★作品カード（アートカード）

このアートカードは太郎さんの作品の代表的な作品が A 5 サイズの 24 枚組のカードになっています。

- ・少人数(3~5 人)のグループでカード 1 セットを使うと一人一人じっとみたり手に取ったりできます。子どもたちは、みるだけでとびつきます。自分たちで「これなに？」などと口々に話し、仲間分けのようなことを始めたりします。
- ・子どもたちはこのカードで「鑑賞」という枠にとらわれないで遊んでいる気持ちになります。しかし遊びで終わらず、鑑賞のねらいを持ってこのアートカードを使うことが大切です。

《アートカードを使った活動の前に》

1. アートカードの作品は太郎さんの作品であることを紹介。
2. カードの扱い方の説明（ケース内側の遊び方例の下に記載してあります）。
3. 自分の感じたことを表してみる、友だちの感じたことをヒントに感じ方を深めること、友だちと同じ感じ方ではないことを誇りに思うこと、鑑賞に答え、正解はないということなどを子どもたちに話してあげてください。
4. 表にして並べる時のわくわくドキドキ感、太郎さんの作品との初めての出会いを大切にしてください。
5. 「気になる作品」はあるかな？と問いかけてみてください。
6. アートカードを使った活動をアレンジしたり自由に考えたりするなど先生ならではの出来ることがあります。
7. 子どもたちがアートカードを使った遊びを自由に考えやってみる活動を試みてください。